団体コード:102091

9. 藤岡市（ふじおかし）

〒375－8601　藤岡市中栗須327番地

TEL　0274-22-1211
FAX　0274-24-3252

市役所まで:JR群馬藤岡駅徒歩20分

市　長　新井（あらい）　雅博（まさひろ）
期数　2　任期　R8.5.9
副市長　田中　政文

議　長　針谷　賢一　（議員任期R9.4.29）

市制施行日	昭和29年4月1日	面　積	180.29 ㎢
H　P	https://www.city.fujioka.gunma.jp/		
E-mail	kikaku@city.fujioka.gunma.jp		

花:ふじ、サルビア、冬桜　　木:くすのき、もくせい、杉　　鳥:－

キャッチフレーズ　：郷土を愛し　未来を創生する藤岡

【市町村のあらまし】

藤岡市は群馬県の南西部に位置し、高速交通網の結節点で、東京圏から藤岡ジャンクションまで約1時間の距離に位置する北関東屈指の広域交通の利便性を誇るまちである。一方で市域の7割が山間地という豊かな自然環境は、四季折々の彩りに包まれた美しい景観を形成している。

歴史は古く、古墳時代の史跡も多く発見され、室町時代には関東管領職にあった上杉憲実が平井城を築いた。江戸時代は上州絹の集積地として栄え、明治以降は高山社に代表される養蚕業の先進地、また、木材の集積地として発展してきた。

平成26年6月には「高山社跡」が「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産として世界文化遺産に登録された。

【産業・経済】

農業は、トマト・いちご・花き等を中心とする施設園芸作物やねぎやなすが大きなウエイトを占めており、特にシンビジウム(洋ラン)は全国でも有数の産地である。

林業は、群馬県三大林業地帯の一つで、県内初の県産材の加工流通拠点として県産材センターが建設され、稼働している。

製品出荷額は、輸送、金属、プラスチック、電気機器が主体となっており、関越自動車道、上信越自動車道、北関東自動車道がクロスする交通の要衝となっている。

【観光施設・公共施設等】

高山社跡(富岡製糸場と絹産業遺産群)
ららん藤岡(道の駅・ハイウェイオアシス)
みかぼみらい館(文化ホール)
ふじの咲く丘・ふじふれあい館
土と火の里公園(工芸体験村)
桜山公園
三波石峡

【名勝・旧跡】

名勝(国・市指定)
三波川(サクラ)、三波石峡、蛇喰渓谷
史跡(国・県指定)
高山社跡、七輿山古墳、白石稲荷山古墳
本郷埴輪窯址、譲原石器時代住居跡、平井城跡

【文化財】

平井一号墳出土品(国指定)
紙本著色泰西王侯図二幅(国指定)
鉄造薬師如来立像(県指定)
沖Ⅱ遺跡出土遺物一括(県指定)
紙本著色達磨図(県指定)

【伝統行事・伝統芸能】

土師神社の流鏑馬と花馬(10月)
三嶋神社夜祭り(11月)
鬼石三杉太鼓
鬼石祭囃子

【祭り・イベント等】(R7.6.1現在)

桜まつり(3～4月)、ふじまつり(4～5月)
チャレンジサイクリングフェスタ(5月)
鬼石夏祭り(7月)、藤岡まつり(8月)
関孝和先生顕彰全日本珠算競技大会(11月)
上州藤岡蚕マラソン(11月)、桜山まつり(12月)

【特産品・名物】

藤岡瓦(鬼瓦、和瓦)、三波石、シンビジウム、
冬桜みかん、冬桜りんご、ブルーベリー、
いちご「やよいひめ」、トマト「ふじ娘」、地酒

【国勢調査人口】

区　分		H22.10.1	H27.10.1	R2.10.1
人口	男	33,186	31,983	30,766
	女	34,789	33,725	32,495
	計	67,975	65,708	63,261
世帯数		24,298	24,569	25,362
構成比	15歳未満	13.6 %	12.4 %	10.9 %
	15～64歳	62.5 %	59.0 %	56.5 %
	65歳以上	24.0 %	28.7 %	32.6 %

【人口及び有権者数】

区分	人　口	有権者
男	30,187	25,828
女	31,364	26,957
計	61,551	52,785
世帯数	28,106　世帯	

※
人口及び世帯数は住民基本台帳(R7.1.1現在)に基づく数値である。
有権者はR7.6月登録日現在の選挙人名簿登録者数である。

【令和6年度土地利用の状況】

農　地	14.0 %	2,532 ha
宅　地	9.3 %	1,676 ha
山　林	33.4 %	6,028 ha
その他	43.2 %	7,794 ha

【産業別就業者数】（R2国調）

区　分	第1次産業	第2次産業	第3次産業	総数（分類不能含）
就業者（人）	1,305	11,027	18,773	31,579
構成比（%）	4.2	35.5	60.4	100.0

【普通会計予算規模】　（単位：百万円）

年度	当初予算額	増減率
5	27,844	7.1 %
6	29,842	7.2 %
7	31,294	4.9 %

【議会議員】

条例定数　：18　人	現員数：18　人　（R7.5.1現在）

【職員数】　（R7.4.1現在）

一般行政	教　育	消　防	公営企業等	合　計
351 人	55 人	0 人	170 人	576 人

【令和6年度の主な施策・事業】（単位：百万円）

複合施設建設事業	2,896
公立病院繰出金等事業	835
ふるさと寄附金事業	588
新火葬場建設事業	455
学校給食費完全無償化事業	232
幹線道路等整備事業	150
圃場整備・農道整備事業	132
高山社跡保存整備事業	58
小林農地耕作条件改善事業	54
多目的ホール冷暖房設備改修事業	52

【令和7年度の主な施策・事業】（単位：百万円）

新火葬場建設事業	1,782
公立病院繰出金等	936
幹線道路等整備事業	594
ふるさと寄附金事業	589
複合施設建設事業	379
学校給食費無償化事業	250
図書館リニューアル事業	175
圃場整備・農道整備事業	143
小林農地耕作条件改善事業	103
高山社跡保存整備事業	91

【特色ある施策・事業等】

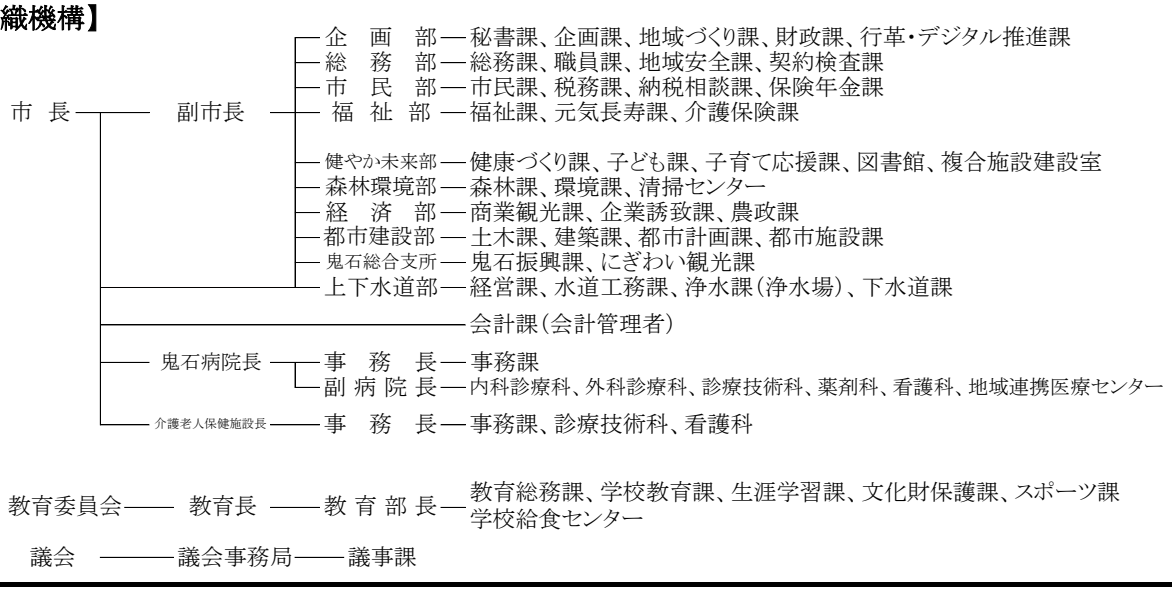
・高山社跡保存整備事業
・高山社学（高山社の歴史的価値について学び、郷土を誇りに思い、郷土を愛する子どもを育成する。）
・算学塾（算数・数学の面白さ、美しさ、不思議さに触れ、粘り強く難問に挑戦し、子どもの興味・関心を高める。）
・関孝和先生顕彰全日本珠算競技大会開催事業
・「連携型小中一貫校」による小中一貫教育を推進
・市内全校でのコミュニティ・スクール実施
・2回のおたふくかぜワクチン接種を全額助成
・5歳児健康診査の実施

【今後の主要課題及び目標等】

第5次藤岡市総合計画の主要課題＜一部抜粋＞

・市全体の防災力の向上
・保健・医療・福祉サービスの確保と連携
・産業基盤の強化や企業誘致の促進
・交通の利便性と安全性の確保
・郷土芸能や伝統行事などの文化の継承
・人口減少社会に対応した行政運営

藤岡市総合戦略の基本目標

「藤岡に来てもらう」、「藤岡で働いてもらう」
「藤岡で家族を作ってもらう」、「藤岡に住み続けてもらう」

【組織機構】